《特別報告１》

こんばんは。わたしは埼玉の原告の村田勇です。

今日おくれて来て、本当に申しわけございません。今日おくれて来たのは、しごとを１日して来たからです。

じつは、きょねんの１２月にねんがんのしゅうしょくが出来たのですが、しゅうしょくをしたばかしなので、お休みの事をなかなかいえなかったのです。

今のしごとは、ようちえんと、作業所のせいそうやでんきカミソリのそうじなど、いろいろしています。

働くじかんは、朝の８時３０分から夕方の１６時までの６時間半です。

しごとは、ろうかをモップをかけたり、トイレをキレイにするので、けっこうハードですが、仲間としごとをするので、たのしいです。

１月３１日にはじめての給料をもらいました。８万１９００円です。かわせみで給料は１万３千円だったので、ものすごく、うれしかったです。お父さんとお母さんにほうこくをしたら「勇、本当に良かったね」とよろこんでくれました。

わたしのゆめは、お金をためて、家をたてたいです。もくひょうは４千８００万円です。

わたしは、自立しえんほうさいばんで、おうえきふたんはんたいや、なん病かんじゃのいりょうひを安くすることや、なん病かんじゃでも、いっぱんしゅうろうができるように、うったえて来ました。

ようやく、今、しゅうしょくが出来ましたが、１０年もかかるとは本当に思っていませんでした。今回しゅうしょく出来たのは、かわせみのしょくいんや、今しごとにつとめている、事業所のおうえんがあったからで、国のえんじょや市のおうえんがあったからだとは思いませんでした。

自立しえんほうさいばんでは、埼玉原告や、全国の原告と知りあう事が出来、障害者がおかれているきびしい現実を知る事が出来ました。その思いやねついがわたしをはげましつづけました。その事が、いっぱんしゅうろうへのわたしの思いをはげましつづけてくれたと思っています。

国や国会ぎいんにいいたい事は、わたしたち障害者のねがいや現実をむししないで、ほしいです。

みんなのねがいが、実現出来るように、ほんきで、全力で、がんばってほしい。わたしたちも１人の人間です。

２０１８年２月１５日（木）

埼玉の、もと原告　村田　勇

《特別報告２》

ぼくは、元げんこくの石井学です。

じりつしえんほうさいばんというと、おもいだすのは、シュプレヒコールです。ぎいんかいかん前のしゅうかいでシュプレヒコールがはじまると、からだがあつくなり、いつのまにか、マイクをにぎって大きなこえで「おうえきふたんはんたい」「かねのないものからかねをとるな」とうったえたことです。

そのときに、ズボンがやぶけてしまい、あわてて、さんかしたかたになおしてもらったこともなつかしいおもいでとなっています。

さいばんでは、きんちょうしていたのに、じぶんのはつげんがおわると、いねむりをしてしまい、大きないびきをかいてしまったこともなつかしいおもいでとなっています。

いまぼくは、さいたま市にある車のディーラの会社につとめています。せんしゃのしごとは大すきです。土日しゅくじつは、とくにいそがしく、いえにかえるのは８：００をすぎることもあります。

１月には、しゃいんりょこうで、おきなわにいってきました。

こんどの４月で５ねん目になりますが、ぼくは、このしごとをずっとつづけたいとおもっています。

いまぼくは、水木金土日としごとにいっていますが、月火のおやすみの日には、かわせみにかよっています。それは、かわせみのてつだいがたのしいからです。

かわせみのなかまや、しょくいんといっしょにはたらくのは、しごととはちがって、べつのたのしみがあります。

ただ、きにいらないこともあります。かわせみに１日くると、６８９円も利用料がかかるからです。かわせみにはたらきにきているのに、どうしてお金がかかるのでしょう。おうえきふたんは、いきているのです。

ぼくのしっているともだちは、グループホームをりようしているのですが、１わりのおうえきふたんとやちんほじょがないのでホームをやめなくてはならなくなってしまいました。

こっかいぎいんにいいたいことは、こうゆうことをしっているのか、もっとしょうがいしゃのことをしんけんにとりくんでほしいことです。

私たちぬきに、私たちのことをきめないでください。

以上です。

２月１５日　石井　学